

学校教育係 子ども一人一人を認め励ます「道徳科の評価」



道徳科の評価が不安です。何をどのように評価したらよいのでしょうか…。

学級担任

授業の質的改善とあわせて、評価についても準備を進めておく必要がありますね。学習指導要領等を参照して、ポイントや基本的な考えを確認しましょう。



道徳教育推進教師

小学校・中学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」

4 児童(生徒)の 学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

学習状況や道徳性に係る成長の様子とは…？

「何を」評価する？ 重視して把握したい子どもの姿

一面的な見方から 多面的・多角的な見方へと 発展させているか。

道徳的価値の理解を 自分自身との関わりの中で 深めているか。

自分と違う立場や感じ方を捉え、考えようとしていることなどです。



登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして道徳的価値を理解していることなどです。



「どのように」評価する？ 評価の基本的な考え

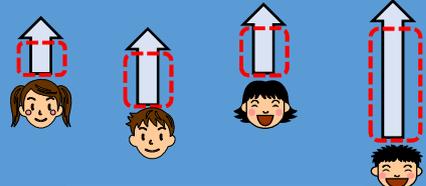
- 数値による評価ではなく、記述式とする。
- いかにか成長したかを認め、励ます 個人内評価を行う。
- 1単位時間の授業だけでなく、一定の期間を経て発展したり深まったりしていることを見取る。
- 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とする。
- 道徳的な判断力などの道徳性の諸様相について学習状況を分析的に捉える 観点別評価は妥当ではない。

発言やワークシートなどから、学習の過程や成果の記録を計画的に蓄積しておく工夫が必要です。



個人内評価のイメージ

道徳科の目標



を評価する。

具体例 道徳的な価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている姿を評価する

小学校1年生 9月 「かぼちゃのつる」(A 節度、節制)

<ねらい>
ひとの注意を聞かないでわがままなことばかりしていると、ひどい目に遭ったときに誰もかわいそうだと思ってくれないことを理解し、わがままや自分勝手な行動を慎もうとする心情を育てる。



Aさん

自分のことだけ考えて、つるをぐんぐん伸ばすわがままなかぼちゃだから、みんなを困らせたのだと思います。

Aさんは、登場人物の感じ方を読み取ることを通して、道徳的価値について理解しているな。



11月「おおひとやま」(C 規則の尊重)

「少しだからいい」と思ってきたりを守れないことは私にもあります。

12月「二わのことり」(B 友情、信頼)

<ねらい>
やまがらの涙を見たみそさざいの気持ちから、友達のことを思って、大切にすることの喜びに気づき、友達と仲よくしようとする心情を育てる。



教室に友達が一人だけいたから、誘って一緒に遊びました。とてもうれしそうにしてくれて私も気持ちがよくなりました。

道徳的価値について理解するとともに、友達を誘った経験を思い出しながら考えているな。



12月のAさんは、読み物教材を基に道徳的価値について理解することに加えて、自分自身の経験と照らし合わせて考え、理解を深めることができるようになっていきますね。こうした姿を積極的に把握しましょう。



授業の中で一人一人の子どもをよく見て、成長した姿を積極的に捉えていくことが大切です。